



第47期 事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第47期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

経営環境

当連結会計年度における世界経済は、堅調な米中経済の状況が日本やユーロ圏諸国、主要新興国に波及し、総じて緩やかな回復傾向が続きまして。しかしながら、東アジア、中東をめぐる地政学リスクや非伝統的な金融政策による資産価格の上昇等、経済への悪影響が懸念される状況も散見されております。

わが国経済におきましても、海外経済が緩やかに回復する中、生産及び輸出の持ち直しが続き、企業収益は過去最高となるような勢いとなり、雇用・所得環境も改善傾向となりました。また、個人消費や企業の設備投資等、国内需要も持ち直しており、経済の好循環が確保されつつあります。

通期連結業績

このような状況のもと当社グループでは、F A装置（F A：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等にも使用される当社主力製品『アルファフレーム[®]システム』の売上高が、順調に推移いたしました。また、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置、さらには有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造企業向けの大径カスタムクリーンブース等についても、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開して順調に売上高を伸ばしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、9,260百万円と前年同期と比べ1,172百万円(14.5%)の増収、営業利益は、1,028百万円と前年同期と比べ196百万円(23.5%)の増益、経常利益は1,032百万円と前年同期と比べ199百万円(23.9%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は、695百万円と前年同期と比べ144百万円(26.1%)の増益となりました。

なお、当連結会計年度の各利益は、連結決算となつてから連続で最高益を更新する結果となっております。

◆ アルファフレーム部門

アルファフレーム部門におきましては、設計サポートサービス「カクチャ[™]」及び組立作業の省力化を可能とする「マーキングシステム[™]」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と

差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

これによって、一般顧客向けの販売が好調に推移し、特に「カクチャ[™]」及び「マーキングシステム[™]」を活用した案件の売上高が大きく伸びました。また、FPD製造設備関連企業及び半導体製造設備業界からの受注も継続して順調に推移いたしました。この結果、当部門の売上高は5,489百万円(前年同期比112.8%)となりました。

◆ 装置部門

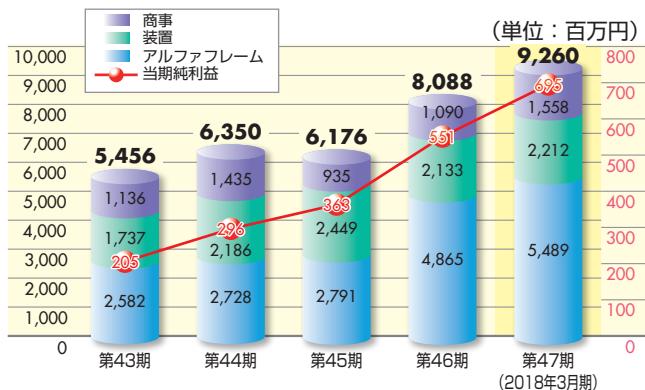
装置部門におきましては、引き続き当社グループの技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進いたしました。

自動車部品製造企業向け設備として、洗浄装置及び検査装置を中心に継続的な受注を確保いたしました。また、FPD業界向けクリーンブース案件については、当初の予測より好調に推移し、売上高が伸びました。この結果、当部門の売上高は2,212百万円(前年同期比103.7%)となりました。

◆ 商事部門

商事部門におきましては、主要顧客より安定的に工業用砥石、油脂類等の消耗品関係の受注を確保いたしました。また、機械設備関係では、複数の主要顧客より大口案件を受注し、売上高が大幅に伸びました。この結果、当部門の売上高は1,558百万円(前年同期比142.9%)となりました。

業績推移



(注) 当社は、第45期より連結計算書類を作成しております。上記の業績数値に関しましては、比較有用性の観点から第45期以降のセグメント別売上高と、第44期以前のセグメント別売上高との増減比較の推移を表示しております。従いまして、第45期以降の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。



配当金

当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく設備投資や研究開発活動に充当する予定であり、資金を有効に活用して企業価値向上を図っていく方針であります。

これらの方針に基づき、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、剰余金の配当を期末配当として年1回実施する方針から、中間配当と期末配当の年2回実施する方針へ変更し、当事業年度より中間配当として1株あたり普通配当16円を実施いたしました。また、各利益も順調に推移したことより平成30年5月7日に開催されました取締役会では、1株あたり普通配当23円とすることが決議されました。

これによって、当事業年度の年間配当金は、前事業年度より9円増配の39円とさせていただきます。

なお、今後とも株主の皆様への支援に報いるため増配を常に念頭におき、事業の発展に努めてまいります。

次期の見通し

今後の見通しにつきましては、好調な半導体・FPD関連企業の投資は継続することが見込まれ、また、自動車関連企業も品質の向上、安定化を図る投資や電気自動車や燃料電池自動車に関連する開発投資についての活発な動きが期待されていることより、当社グループの受注環境は順調に推移することが見込まれております。

しかしながら、一般機械メーカーや産業用機械メーカーでは深刻な部材不足によって納期遅れが発生しており、当社グループにおいても例外ではございません。部材不足の要因は、世界的な好景気を背景に、各種製造機械の需要増によって部材供給が追いついておらず、供給不足の長期化が懸念される状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは「倍増計画〔2016年度から2020年度までの5ヵ年を期間とする中長期経営計画〕」に基づいて、更なる業容拡大に向けた様々な設備投資を計画いたしておりますが、前述要因にて、より緻密に精査したうえで計画を推進することが重要であると考えております。

つきましては、次期2018年度の連結業績見通しは、世界的な好景気を背景に各種製造機械の需要増は継続し、受注環境は良好なものの、部材不足による各種製造機械メーカーへの影響と当社グループの設備投資計画を絡めて通期の業績予想を確定するには、もう暫らく精査を要するため、現時点での公表は控えさせていただき、精査を終え次第、速やかに開示する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

代表取締役会長 CEO 西川 浩 司

事業の内容

地球環境にやさしくリサイクル性に優れたアルミ構造体「アルファフレーム®システム」の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。

アルファフレームの特長を活かし、各種工場で使用されるFA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置）及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。

上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。

これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。



マシンカバー



架台



セーフティカバー



アルファコンベア



ワゴン



セル生産架台

アルファフレーム + 装置 + 商事
高付加価値技術

アルファフレーム部門

経験豊富なCAD設計陣による
技術設計支援・サービス

豊富な製品群“1,500以上”による
多彩なシステムの提供



装置部門

特定の業界に依存しない
業務体系

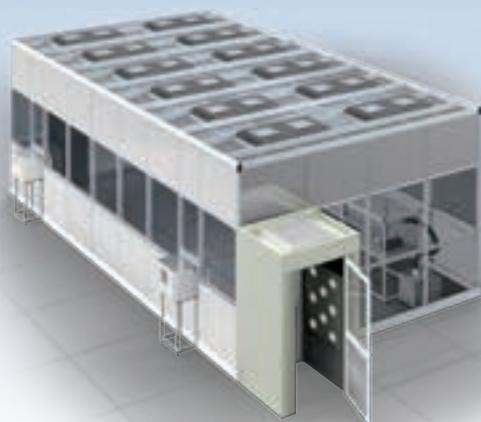
先端技術力を持つ企業
から積極的受注体制



商事部門

「メーカー機能」を活用した
設備の導入提案営業

工業用砥石を中心とした
工業生産財の提供



カスタムクリーンブース



工作機械



カップ式ブロー機 CRシリーズ



カップ式洗浄機 NCシリーズ

Automobile
Semiconductor
FPD
Clean
Microelectronics
Machine
Pharmaceutical
Food

ALFA FRAME SYSTEM

アルファフレーム部門

日本の自動化装置業界で長年の実績を持つ「アルミ構造体モジュール&システム」[アルファフレーム®システム]は、多種のアルミニウムプロファイルとその接続ブラケット及びアクセサリパーツで構成された機械構造用アルミニウム合金製フレームです。各種装置の筐体やカバーを製作するための最適なプロファイル、パーツを揃えています。

お客様の効率化を適切にフォローする「カクチャ™」、組立に必要な情報をフレームにプリントする「マーキングシステム™」、[ナット付フレーム]などのサービス拡充により、アルファフレーム導入の促進に貢献いたしております。

【アルファフレームの優れた特長】

① 充実した製品群

幅広い製品ラインナップで、お客様のあらゆるニーズにお応えいたします。

② 仕様変更等も容易

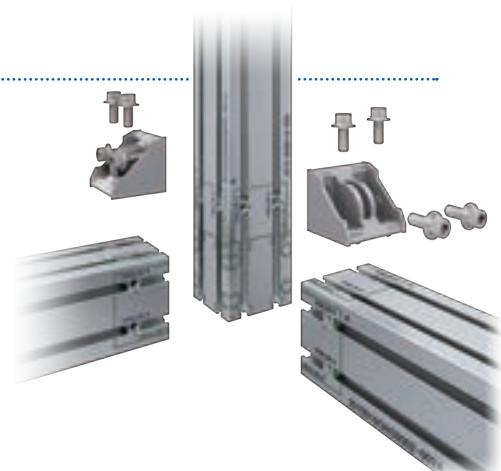
急な設計変更や将来の増設にも容易かつ柔軟に対応することが可能です。

③ 幅広い分野に適應

機器取付部材の材料、作業台や棚などの工業用品、多彩な分野で使用されております。

【幅広い分野で使用されております】

装置メーカーとして長年培った技術と知識で、様々なニーズに対応し、電子、精密、医療、食品などの幅広い分野で使用され、高い評価をいただいております。

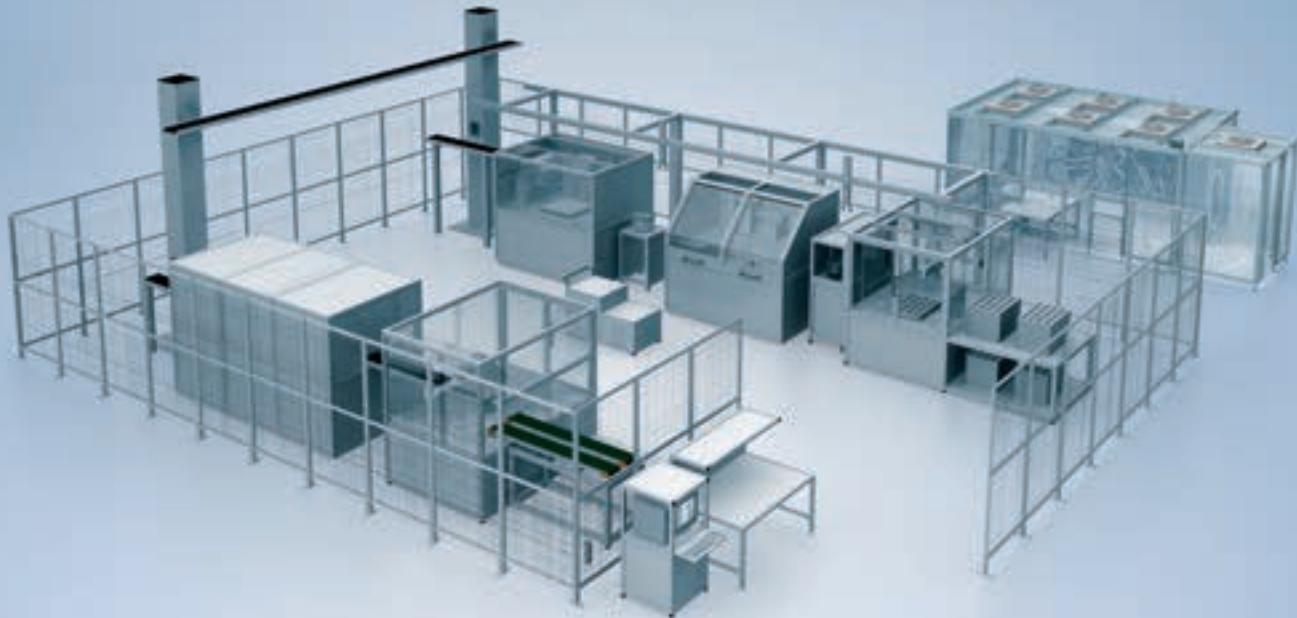


取り付け位置を教えてくれる【マーキングシステム】

Marking System™

アルミフレーム・トータルサポートサービス[カクチャ]

KAKCHAR™



FACTORY AUTOMATION

PRODUCTION GOODS

装置部門

新たな分野へ積極的に参入することでノウハウの蓄積を行い、半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じたFA装置(洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置)及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。

「アルファフレーム®システム」を基本部材として使用することにより、各種装置製作の効率化や短納期化が可能となります。また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応した様々な製品開発も行っております。



カップ式ブロー機



カップ式洗浄機

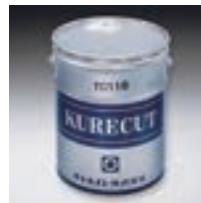
商事部門

工業用砥石、工具・ツールなどの消耗品と工場等の機械設備を提供いたしております。

工業用砥石、やすり、工具・ツールなどの消耗品は、リピート受注が多いことが特長となっており、この安定した消耗品関係ビジネスが、当社の安定的な収益にも大きく貢献いたしております。また、装置部門との連携により当社製品を活用した機械設備(生産ライン)の導入提案等を行い、多種多様なお客様のニーズにお応えする製品を提供いたしております。



工具・ツール



油脂類



工業用砥石

トピックス

New Lineup

性能と利便性を両立した装置メーカーの「小型ロボット専用アルミ架台」。

従来の産業用ロボット架台の課題を克服した「アルミ製ロボット架台」を規格化し、新たな商品としてラインナップいたしました。安全性はもちろんのこと、スチール同等の強度と剛性を確保した最適設計で、高速ロボットの性能を確実に支えます。ロボットの設置、治具やワークの取り付けも容易で、事前の設計や加工が不要です。部品の取付位置が誰でも分かる、NIC独自のマーキングシステム™で組立作業時間・コストを大幅に削減いたします。

ALFA KIT ④つのポイント

① 高い品質と信頼性

装置メーカーとして長年培った知識と技術力で実現した規格品だから手軽で安心。スチール□50mm角パイプと同等の剛性をもつAFS-6060-6を採用し、コスト削減・生産ラインのスリム化が可能です。

② 剛性を数値化した最適設計

従来の構造解析に加え、ロボット稼動状態での振動測定（加速度、振動数）を行い、スチール同等の強度と剛性を確保した最適設計。

③ セル単位でレイアウト自在

標準カバーと一体化し、単独セルからセル同士のライン連結などミニロボットによる自動化生産ラインの工程レイアウトが自在に行えます。

④ 選べる購入方法

フレームに図面がプリントされたマーキングフレームで組立も簡単なキット発送と、組立完成品からお選びいただけます。

用途に合わせた規格品「アルファ・キット」

ALFA KIT — ロボットシリーズ —
AK-R-Series



協働ロボット7kg専用架台

AK-R-FK07

高剛性かつ軽量で、作業工程に合わせてロボットの移動が容易に行えます。



垂直多関節ロボット
7kg以下用架台

AK-R-FC07

産業用ロボット導入に欠かせないモジュールを、短納期で簡単に設置できます。

立山事業所(新工場)・アルファフレーム北関東(出荷センター)、順調に稼働中。 富山本社、流杉工場へ移転で連携強化へ。

当社グループが掲げている「倍増計画〔2016年度から2020年度までの5ヵ年を期間とする中長期経営計画〕」の一環として、当連結会計年度におきましては、FA装置等の受注拡大を図ることを目的に、2017年7月に新工場(立山事業所/富山県中新川郡立山町)を新設し、順調に本格稼働いたしました。また、関東を中心とした東日本のお客様へのサービス向上及び海外のお客様からのニーズにも迅速にお応えできる体制の一環として開設したアルファフレーム北関東(埼玉県児玉郡神川町)も同じく2017年7月より、『アルファフレーム®システム』の出荷センターとしての業務を開始し、計画通りの稼働状況に至りました。

さらに、本年3月には、管理部門と生産管理部門の連携強化を図り、業務効率を高める施策として、富山本社が所在していた土地を売却し、富山本社を流杉工場へ移転いたしました。



立山事業所



アルファフレーム北関東



富山本社/流杉工場

連結貸借対照表 (2018年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額
資 産 の 部		
流 動 資 産		5,555,450
固 定 資 産		2,830,772
有形固定資産		2,074,749
無形固定資産		47,076
投資その他の資産		708,946
資 産 合 計		8,386,222
負 債 の 部		
流 動 負 債		2,829,656
固 定 負 債		924,731
負 債 合 計		3,754,388
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		4,494,186
資 本 剰 余 金		156,100
資 利 益 剰 余 金		145,608
自 己 株 式		4,227,201
その他の包括利益累計額		△34,723
その他の有価証券評価差額金		137,237
為替換算調整勘定		120,618
非支配株主持分		16,618
非 支 配 株 主 持 分		410
純 資 産 合 計		4,631,834
負 債 及 び 純 資 産 合 計		8,386,222

連結損益計算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額
売 上 高		9,260,778
売 上 原 価		6,999,390
売 上 総 利 益		2,261,388
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,232,469
営 業 利 益		1,028,918
営 業 外 収 益		15,486
営 業 外 費 用		11,689
経 常 利 益		1,032,716
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		1,032,716
法 人 税 等		337,129
当 期 純 利 益		695,587
非支配株主に帰属する当期純利益		△76
親会社株主に帰属する当期純利益		695,663

連結株主資本等変動計算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額				非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本合 計	そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当 期 首 残 高	156,100	145,608	3,782,177	△ 34,529	4,049,356	96,538	10,773	107,312	478	4,157,147
当 期 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△ 250,639		△ 250,639					△ 250,639
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			695,663		695,663					695,663
自己株式の取得				△ 193	△ 193					△ 193
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)						24,080	5,845	29,925	△ 68	29,857
当 期 変 動 額 合 計	—	—	445,023	△ 193	444,829	24,080	5,845	29,925	△ 68	474,687
当 期 末 残 高	156,100	145,608	4,227,201	△ 34,723	4,494,186	120,618	16,618	137,237	410	4,631,834

会社の概要 (2018年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	1971年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	連結223名(単独214名)
事業所	
本社 / 流杉工場 東京本社	〒939-8032 富山県富山市流杉255番地 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
立山工場	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越 398番176号
立山事業所	〒930-0221 富山県中新川郡立山町前沢 2178番地1
愛知事業所	〒458-0801 愛知県名古屋市区緑区鳴海町 母呂後185番地
アルファフレーム北関東	〒367-0247 埼玉県児玉郡神川町元阿保 309番地
アルファフレーム関西	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西 二丁目4番29号
アルファフレーム九州	〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町 一丁目2番地

海外子会社

NIC Autotec(Thailand)Co.,Ltd. タイ王国サムットプラカーン県

役員構成 (2018年6月23日現在)

代表取締役会長	CEO	西川浩司
取締役社長		西川武
取締役副社長		西尾謙夫
常務取締役		土山邦夫
常務取締役		野村良一
常勤監査役		藤島敏夫
社外監査役		土屋重義
社外監査役		白石康広

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

東京都港区港南二丁目15番3号 品川インターシティC棟

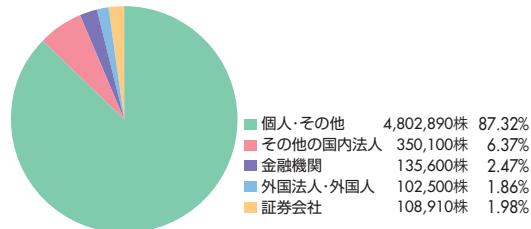
株式の状況 (2018年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 20,000,000株
- 発行済株式の総数 普通株式5,500,000株
(自己株式51,371株を含む)
- 株主数 1,881名
- 大株主の状況

株主名	持株数
西川浩司	3,704,900株
三協立山株式会社	202,500株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	107,700株
ダイド一株式会社	70,000株
株式会社三井住友銀行	50,000株
西川武	50,000株
植田潤次郎	45,000株
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	42,000株
BARCLAYS BANK PLC A/C CLIENT SEGREGATED A/C PB CAYMAN CLIENTS	39,500株
水間隆二	34,700株

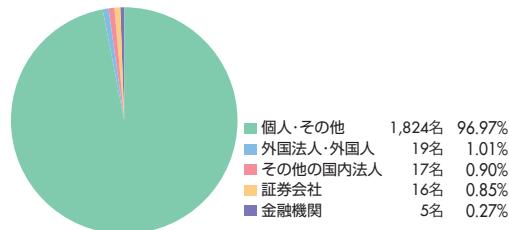
(注) 上記大株主のほか、当社は自己株式51,371株を保有しております。

(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式51,371株は、「個人・その他」に含まれております。

(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

証券コード	5742
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【公告の方法】

当社のホームページに掲載いたします。

〈 <http://www.nic-inc.co.jp/> 〉

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

【上場金融商品取引所】

東京証券取引所 JASDAQスタンダード

※株式に関するお手続きについて

1. 配当金受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申出先について
 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引のある証券会社にお申し出ください。
2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ ホームページのご案内

- 当社の詳細情報はホームページをご覧ください。

エヌアイシ

検索

<http://www.nic-inc.co.jp/>

- アルファフレーム®の当社直販サイト

<http://www.nic-direct.jp/>



エヌアイシ・オートテック株式会社

富山本社 / 流杉工場

〒939-8032 富山県富山市流杉255番地 TEL 076-425-0738